

銚子の魅力を
発信するちょよ!



のI♡銚子

第78回

ippolabo.の、わくわくすっぞー!

石毛理恵・宮内由実さんの巻

農家に嫁ぎ、移住。ここから「一歩」踏み出した二人を突撃するちょよ
ドキドキわくわくは年中無休

「皆さんが、はじめの一歩を踏み出すきっかけになりたい」
「ippolabo.の二人は農家の妻同士。子育てサークルで意気投合し、銚子を想い、綺麗な海と子どもたちの未来のために、頑張りたい。」

「自分たちがわくわくすることを大切にイベントを開催している。日常から飛び出し、小さな一歩でも継続していきたい。そのためには、頑張り



▲「ippolabo.」代表の石毛理恵さん(右)と副代表の宮内由実さん(左)農家の妻の2人。「縁を大切に、イベントごとにつながりが増えています」

りすぎないことが何よりのポイント。仕事や家事育児も応援し合える居場所を作っていきたい」

《主な活動内容》

- ▼君ヶ浜ビーチクリーン
- ▼小児がん支援のレモネードスタンド(子どもが販売体験し、売上を寄付)
- ▼地域食堂わくわく
- (お手頃な食事の提供。子ども服や絵本、おもちゃの持ち寄り・持ち帰りは自由。伝統芸能に触れる機会も)

なんと、ビジネスW受賞!

「とても良い縁、良い流れに乗れている。みなさんのおかげ」



▲「ジャパンチャレンジャーアワード2024 in 銚子」でグランプリと準グランプリ

イッポラボ
ippolabo.



垣根町1-280-2
チョウシグッド・ビールカフェで
「地域食堂わくわく」を開催
(大人300円・子ども100円)
11時30分～15時

☎ 090 (7012) 1085



①レモネードスタンド(桜井町公園) ②③地域食堂わくわく。伝統芸能「佃川流大江戸玉すだれ」に触れる子どもたち ④君ヶ浜ビーチクリーン



＼ 食べにきらっせ♡ 農家さんが作ったお米や野菜 /
次回の地域食堂わくわく 5月11日(土) 11時30分～15時



銚子の資産や地域課題をテーマにしたビジネスプランのコンテスト『ジャパンチャレンジャーアワード2024 in 銚子』が2月17日に開催された。
ドライキャベツを使った商品開発を発表した宮内さんがグランプリに。地域食堂からわくわくを届ける発表をした石毛さんが準グランプリに輝いた。
「取組を知ってもらうだけではなく、熱量ある発表を聞ける貴重な機会に刺激を受けた。アワード参加者同士で交流も始まり、地域食堂への

食材提供につながった。大きな一歩を応援してもらったことは忘れない」
はじめの一歩を踏み出した二人の勢いが止まらない。
「人生は一回きり。たまには自分ファーストに。わくわくを謳歌して、大小いろいろな一歩を踏み出してほしい」
一歩ふみ出した
ラボメンを募集しているちょよ